

編集 筑北村議会だより編集委員
〒399-7501
長野県東筑摩郡筑北村西条 4195 番地
電話 0263-66-2111
FAX 0263-66-3370

今回の内容

- 議長あいさつ
- 12月定例会一般質問
- 視察研修報告
- 議会構成変更
- 12月定例会審議結果 ほか

年頭及び議長就任にあたって

筑北村議会議長 鎌田 欣子



新年あけましておめでとうございます。

令和6年の新春を迎え、皆様には健やかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。

日頃は議会に多くのご支援ご協力を賜り感謝申し上げます。

私は、昨年11月の議長選挙を

経て議長の重責を担うこととなりました。同僚の議員とともに議会運営に真摯に取り組んでまいります。

さて、今年辰年、飛躍の年であります。昨年12月17日に「筑北スマートインターチェンジ」が開通となり、筑北村にも飛躍の兆しを感じております。安曇野インターチェンジまで11分は画期的なことです。ベッドタウン、工業団地としての可能性への期待は大きく膨らみます。

昨年の東筑摩郡5村議会による国、県への要望活動では、議

会として国道、県道の整備促進について要望しました。具体的には、次の事項を要望しました。

- 1 国道143号及び県道河鹿沢西条停車場線大沢地籍の改良
- 2 主要地方道大町麻績インター千曲線、差切地籍から山清路間の改良
- 3 国道403号中島橋から六工間の改良及び、安曇野市明科地籍、名九鬼から木戸間の整備促進

昨年11月に実施した視察では宮田村・箕輪町・山梨県昭和町から「議員間討議」「住民との関わり方」など学んできました。帰村後、視察内容をこれからの議会に役立てるための、話し合いをもちました。

議会基本条例等議会の基礎的ルールの検討や、ペーパーレス化・タブレット使用等議会のICT（情報と通信に関する技術の総称）化も順次進めていきます。また、議員間討議を進め、議会として「未来につながる提案・提言」をしていきます。



さらに、各種組織・団体や、中学生、高校生など幅広く住民の皆さんに、議会に「興味、関心を持ってもらう」ため、懇談会の充実等検討していきます。今年も村からの政策提案には審議を十分重ね、意思決定を行います。また、健全財政が維持されるよう、さらに議会が決定した政策については適正かつ公平、効率的に執行されているかチェック機能として役割を果たしてまいります。

今年一年が皆様にとって良い年となりますようお祈りし、新年にあたっての挨拶といたします。



一般質問とは、議員が村長などの執行機関に対し、所信や疑問をただすこと、あるいは報告や説明を求めるものです。これにより、結果として「現行の政策変更」や「新規政策を採用」させるなどの効果があります。

各議員が特にお伝えしたい内容に絞って登壇順(質問順)にお知らせします。

一般質問

村の考えを問う

10人の議員が発言 12月定例会

質問順	質問内容	議員名
1	<ol style="list-style-type: none"> 1 村の歴史遺物の活用について 2 犯罪被害者支援条例について 3 令和6年度の新しい施策について 	櫻井 新一 (p20)
2	<ol style="list-style-type: none"> 1 高速バス廃止問題 2 DX・ICT政策推進 	勝田 昇 (p20)
3	<ol style="list-style-type: none"> 1 地方自治体の「奨学金返還支援制度」肩代わりについて 2 子育て世帯(若者)定住促進の対策について 	一之瀬茂幸 (p21)
4	<ol style="list-style-type: none"> 1 防災カメラの現状と課題について 2 広報における令和4年度特別会計決算状況説明について 	窪寺 務 (p21)
5	<ol style="list-style-type: none"> 1 太田村長任期前半の振り返りでの自己評価と後半への課題 2 令和6年度予算編成への政策反映 3 15歳未満人口7.2%への対策と村の存続について 	小山 正博 (p22)
6	<ol style="list-style-type: none"> 1 公民館の活用について 2 観光事業の進め方について 3 Wi-Fiの設置計画について 	玉井 玲子 (p22)
7	<ol style="list-style-type: none"> 1 少子化対策(子育て支援、子ども支援)について 	藤原 孝一 (p23)
8	<ol style="list-style-type: none"> 1 タイケン学園誘致の交付税影響額、経済効果 2 デマンドバスの利便性と実証実験 3 防災行政無線更新、家の中にいる人に聞こえないそれでいいのか 4 筑北村農業振興事業補助金事業設置はいつなのか 5 防災ラジオの運用について 6 令和6年度予算方針 	吉池 昌昭 (p23)
9	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和5年度事業進捗状況と新年度事業について 2 坂北支所業務の在り方について 	宮下 敏彦 (p24)
10	<ol style="list-style-type: none"> 1 村政運営2年を通しての成果と課題について 2 DXの進捗、効果について 3 各種ハラスメントに関する条例制定について 	山田 直幸 (p24)

Q 歴史遺物の観光での活用は
A 観光資源として活用を検討



さくらい しんいち
櫻井 新一

質問 村にある古い歴史遺物を展示し、観光資源として活用しては。
観光課長 県宝の指定を受けている安坂將軍塚古墳出土品などの歴史物は、観光資源の少ない当村では大きな資源となる可能性がある。

今後活用できるか検討する。

犯罪被害者条例を制定の考えは

質問 村は犯罪被害者支援条例を制定していないが、今後制定する考えはあるか。
村長 現在、制定してない。課題としては、犯罪の範囲をどのように定めるか、被害額をどのように設定するのがいいのか、といったことがある。また被害者のプライバシーを守ることも大事である。村としては現在、民生費の災害救助費にて扶助費見舞金として対応している。見舞金支給の判断につ

いては、村長、議長、消防団長、民生児童委員会会長の協議によって決定することになっている。犯罪被害の認定に警察関係者も加えて決定するといった見舞金の規定を準用することで被害者に寄り添った柔軟な支援ができると考える。条例制定は皆の意見を伺いながら検討する。

令和6年度の新しい施策は

質問 令和6年度の新しい施策は何か考えているか。
村長 給食費の無償化の実施。スマートフォンでの住民向けアプリ

の導入。スマート農業、スポーツ施設の管理システム、及びオンライン診療の調査研究。蓄電池への補助制度の導入検討。移住では、銀座NAGANO(東京銀座にある長野県が運営するサテライトショップ・交流スペース)でイチゴのデザート作り体験会を通じて若い世代を呼び込みの実施。防災では女性向けの研修会の実施の企画等、総合的な安全対策。以上を進めていきたい。

Q 高速バス運行終了問題
A 利用者少なく仕方ない



かつた のぼる
勝田 昇

質問 高速バス長野松本線運行終了の連絡は。
村長 10月に、県の交通政策局の主導で事業者沿線市町村のオンライン会議が開かれ、①運転手の確保が困難②利用客の大幅な回復見

込みがない③燃料代と物価高騰の影響などで、今年度で運行を終了したいと報告を受けた。
質問 高速バス運行終了に伴って、篠ノ井線の利便性向上策は。
村長 行政側の対応には、一定の限界があると認識している。

質問 村民が安心して暮らせる公共交通の完備された村づくりをしていただきたい。
質問 職員教育・研修は。
村長 職員のITリテラシーは個人差を感じている。飯綱町に行政視察を行った。また、今年度タブレットによるペーパーレス会議を推進している。

DX・ICT政策推進

質問 議会資料としてのペーパーの使用量は。
総務課長 議会に対する資料の枚数は、ファイルの厚さで25cm、毎回

35部を印刷。
質問 ペーパーレス化は、紙の消費量削減だけでなく、印刷時間等作業時間も短縮できる。議会と行政のペーパーレス協議会等の設置を提案するがいかがか。
村長 定例会以外の委員会など資料の閲覧のみの時は、ペーパーレス会議での対応を考えている。議会事務局と議会運営委員会での協議が必要と認識している。
質問 システムの共有、機器の導入にしても話し合いの場を設けていただきたい。



坂北の高速バス停

質問 所期の目的に沿わない防災カメラの現状をどう捉えているのか。
村長 設置したのが疑問に思う防



つとむ 務
くほつら 達寺

Q 防災行政無線更新に併せ設備の更新も含め検討中

Q 防災カメラを有効活用する考えは

質問 奨学金制度を利用した学生で、近年卒業後返済に悩みを抱えている若者が増えている中、自治体が返還を「肩代わり」する自治体が増えている。対象要件を緩和し



いちの せ しげゆき
一之瀬 茂幸

Q 「奨学金返還支援制度」導入は
A 他市町村の事例を調べ方向性を決めていく

被災カメラが何箇所もあり、残念に感じている。
質問 防災の面から、より有効なカメラ配置を検討できないか。
村長 現在計画している防災行政無線システムの更新に併せ、カメラも更新し、必要な箇所に設置することで、費用面の圧縮が図れるのではと検討している。
質問 インターチェンジ出入口付近に防災カメラを設置できないか。
村長 インターチェンジ出入口周辺に防災カメラの設置は必要と考え、現行箇所1箇所増設し、17箇所増設している。

「地方創成」や「若者の負担軽減」を行う本制度を当村でも行う必要があると思う。また本制度を、広く告知することで「移住政策」につながると思われる。
総務課長 村内に居住し、周辺の自治体の企業等に就職した若者も含め、奨学金の利用等、対象となる方の実態がつかめていない。他の自治体の状況を調査・検討し方向性を決める。
子育て世帯(若者)の定住促進対策
質問 高齢化の上昇と若者の減少が続いている。「子育ては筑北で」



カメラの設置が望まれる筑北スマートインターチェンジ入口付近

質問 広報では、7,482万円が温泉施設に赤字補てん分として、

温泉施設の赤字経営の広報

のキャッチフレーズに更に磨きをかけた政策が重要と考えるが。
村長 「子育ては筑北で」は最大の課題。また、高齢者福祉とのバランスも重要。当村は他の市町村に比べ、まだまだ劣っている部分もあるが、来年度に向け給食費の無償化、一部祝い金の増額、出生祝い金増額の検討を行う。今後「子育て支援」は各課の連携が必要と考える。また、ホームページの充実も行っていく。
福祉医療費助成金の拡充
質問 福祉医療費助成金の1レセ

繰り入れられている状況を伝えられていないと考える。村長の考えはいかがか。
村長 ホームページ等の活用を含め、分かりやすい広報に改善していきたい。
質問 監査委員より、温泉施設の運営を検討する委員会組織の立ち上げを要望されているが、今後どのように進めていくのか。
村長 それぞれの温泉施設が課題を抱えている中で、検討委員会を立ち上げ、協議していかねばならないと認識している。

プト5000円の受給者負担をなくし、全額助成まで拡充しては。
住民福祉課長 現行の制度は、1医療機関1か月最大5000円の受給者負担であり、何回受診しても5000円の受給者負担で済む。近隣市町村では、麻績村が、受給者負担が無いほかは5000円であり、財源の確保を含め慎重に考えていく必要がある。


Q 村長任期前半折返しでの自己評価と後半の課題

A 若者住宅建設開始は成果課題は単身者住宅供給



こやま まさひろ
小山 正博

質問 村長の任期前半の総括と後半の課題は。特に若者定住と子育て支援の充実、中学校部活動の地域移行の進捗状況は。

Q 西条温泉とくらの指定管理は

A 将来周辺施設を含め検討が望ましい



たまい りんこ
玉井 玲子

質問 西条温泉とくら(以下、「とくら」と表記)の宿泊や宴会利用者の不満の声は、フロントや観光課に届いているのか。

観光課長 多くはないが届いてい

村長 若者定住住宅は、集合住宅から戸建てに方向転換したが、議会にも同意していただき道筋ができた。課題は、単身者住宅供給である。民間企業が建設した住宅への補助金を検討したい。

子育て支援は、結婚祝・出産祝金を増額し、入学祝・通学定期補助金制度を新設し支援を充実した。給食費の無償化は実施したい。課題の一つは、財源が乏しいことだ。ふるさと納税等の財源をより一層増やしたい。課題の二つ目は、組織の縦割りだが、やや強いので課の連携を強化したい。

教育次長 部活地域移行は、県の

る。アンケート調査を行い、利用者の意見をとくらと観光課で共有し、改善を図っていく。

質問 とくらのホームページで予約ができない日が多いと感じる。碧館の情報もなく積極的なPRが必要と考えるが。

観光課長 ホームページは見直しをしていかなければと認識している。予約ができない状況の要因として職員不足もある。碧館の件も含めて今後検討していく。

質問 今後とくらの運営も指定管理を検討していくべきと考えるが、見解は。

観光課長 村直営が一番良いと考

ガイドラインを基に、聖南中学スポーツ文化運営委員会を中心に進めたい。県の保護者アンケートでは、練習・試合場所への送迎の負担に不安があるとの回答が多数あった。

令和6年度予算編成への政策反映

質問 一般会計予算規模見込み額と予定される大型事業は

村長 財政シミュレーション上は、52億6千万円を想定している。大型事業は、若者定住住宅建設・デジタル防災行政無線の更新等を予定している。

えている。しかし、指定管理を含め温泉施設の在り方を検討する場も必要と認識している。

村長 とくらと周辺のスポーツ施設を含めて将来的には指定管理を検討していくのが望ましい。しかし、今は経営管理の売り上げ増大を目指していく。

「とくら沢ふれあい広場」の活用

質問 「とくら沢ふれあい広場」ではマルシェが開催され好評だった。今後広場活用の積極的なPRが必要と考えるが。

教育長 キャンプ場とイベント広

15歳未満人口7.2%への対策と村の存続について

質問 当村の15歳未満人口割合は7.2%と近隣村でも最も低い。高齢者は48.1%と最高だが、この状況をどう捉えるか。

村長 高齢化比率が高いのは、裏を返せば元気な高齢者が多いということでもある。15歳未満人口比率が低いのは極めて残念なこと。出生者を増やす取り組みと子育て世帯の移住促進の施策が重要だと考える。

場の機能を両立するため、早めの年間計画を立てる必要がある。イベント主催者や観光課と情報共有し、計画的に会場提供やPR等に協力していく。

質問 マルシェは筑北村を知ってもらうとても良い機会になるのでこれからも協力をお願いしたい。



ふれあい広場でのマルシェの様子

質問 学校誘致時の資料には交付税約6千万円、経済効果、交付税含めて1億8千万円とある、現在の状況は。
総務課長 交付税は、43人、1,784



よしいけ まさあき
吉池 昌昭

Q タイケン学園誘致、交付税、経済効果は
A 約3千3百万円

質問 県内首長アンケートで村長は、自治体の少子化対策について「効果を感じている施策は今のところない」と回答しているが、村の少子化対策をどのように捉えているか。



ふじわら こういち
藤原 孝一

Q アンケート回答の真意は
A 少子化対策の効果を客観的に判断し回答

質問 4月より坂井地域で始まるバス停方式のデマンドバス、村長の公共交通の利便性向上は。
村長 事業者との調整等で、一部バス停の増設を考えている。

デマンドバスの実証実験

万円、経済効果は約1,500万円である。
質問 計画の6分の1の効果。村は自主財源が少ない中、経費削減は必要。運動施設の指定管理をして経費削減の考えは。
村長 職員の減少などが見込まれる。指定管理を含め検討していく。

るか。
村長 村では様々な子育て支援を展開しているが、出生数の減少、15歳未満の人口割合が県下でも低い、若者住宅整備が遅れているなど客観的に判断して回答した。
質問 効果を出すため、高めるためには、何が必要と考えているか。
村長 住宅整備が遅れているので、建設が進むよう展開していく。各課が情報共有し若者定住に結びつけていくような取り組みが必要と考える。そのために村に定住してもらうには何が必要かをテーマに検討していく。
質問 来年度の予算編成にあたり、

質問 同事業の設置年度は。
産業課長 平成18年8月の告示。

筑北村農業振興補助金事業

質問 高齢者が半数近い。家の中で聞こえることは想定していないというが、それでいいのか。
総務課長 屋外拡声子局では、現在の住宅構造などから、情報伝達することは困難。防災ラジオ、テレビ松本、スマホなどを活用した情報伝達手段も検討している。

防災行政無線更新

少子化対策、子育て支援への予算配分の考え方と新たに取組む事業があるか。
村長 決算の状況、財政シミュレーションを含め検討し、来年度から給食費無料化に取り組んでいく。これは、大変負担になるが大きく一歩踏み出していく。継続していくことも大事なので、出生祝金、入学祝金、私学助成金など増額を検討する。生活応援商品券事業も好評なので実施を検討する。
質問 来年度に向けて取組んでいることが分かった。無料化などお金の面以外でも、この村に若い人が定住できる環境づくりが大事

質問 昨年は無いと言い、今年もあった。どうか。
産業課長 昨年は、具体的な書類の提出がなかった。今年度は具体的に計画の書類が出された。
質問 村政運営をする立場で、書類の提出がなかったから、指導もしなかった、それでいいのか。
村長 村としては、公平に接している。補助金制度の大原則に立ち返り、適正に申請していただきたい。



若者住宅建設予定地(西条)

と思うがいかがか。
村長 まずは、庁内で検討していく。議員からも様々な提案をいただき視察等も含め検討していく。

Q 坂北支所業務の在り方は
A 支所閉鎖に向け検討を進める



みやした としひこ
宮下 敏彦

質問 坂北支所来庁者数及び経費の状況は。

総務課長 昨年一年間の来庁者数約2千3百人。週平均44人、日平均9人。経費は人件費等約9百万。
質問 費用対効果、住民サービス

等様々な側面から「支所廃止」も視野に入れ方向性を示すべきでは。
村長 住民サービスに大きな混乱を招かないよう、支所窓口業務終了へ向けたロードマップを作成。



在り方検討が行われる坂北支所

行政懇談会等の機会を利用して住民からの意見等を伺い進める。

ホームページリニューアル

質問 進捗状況と概要は。

村長 広報機能として優れているスマートフォンを使った住民向けアプリの導入と合わせ、令和6年度の実施を考えている。

テレビ松本の村専用チャンネル

質問 視聴率は。

総務課長 テレビ松本からの回答視聴率の調査は費用もかかること

で実施してない。

質問 月間ニュースの内容を月の前期、後期に分け、タイムリーな情報を放映すべきでは。
総務課長 番組の構成について、今後テレビ松本と協議しながら運営していきたい。費用面では月2部制とすると予算も現在の約1.5倍の費用がかかる。

質問 モニターを委嘱し番組の充実を図るべきでは。
総務課長 テレビ松本では、今後の運営に生かすため、6月から8月にかけて、村民の方から意見、要望の聞き取りを実施した。モニター選任は考えていない。

Q 単身者向けアパート建設は
A 村主導での建設予定はない



やま だ なおゆき
山田 直幸

質問 今後、単身向けアパート建設への考え方は。

村長 他自治体にて実施されているように、民間事業者建設のアパートに対し村として何らかの形で金銭面の支援をしていく方法も

ある。

質問 竹之下団地の今後の考え方は。

村長 民間事業者の建設に対して支援は可能だが、現時点で村としての建設予定はない。

SIC開通による産業振興・雇用

質問 全体案、詳細計画の発表時期は。

村長 工業団地進出を希望している企業はあるが、相手方のことも踏まえ公表できる状況になれば議会にも知らせる。

質問 道の駅移転への考え方は。

村長 現在の場所は手狭であることは承知している。建設を考えた時、人手・売上・出荷等なかなか難しいものがある。ファームめぶきなど民間の力を借りながら産業振興を図りたい。

DXの進捗と効果

質問 コンビニ交付以外の施策は。

村長 コンビニ交付に関しては一定の成果は上がったが、他に利便性向上につながった施策は、現在ない。来年度導入予定している事業として、スマートフォンを使った住民向けアプリを考えている。

各種ハラスメントについて

質問 報道等に見られるハラスメントへの所感は。

村長 暴力・暴言はレッドカードだが、グレイゾーンも多いと考えられる。被害者の泣き寝入りがないよう対策支援が必要と考える。

視察研修報告

現議員は、令和3年10月の選挙で当選し、任期の折返し時期です。議会活性化への取り組みとして、先進的議会の、南信地区の宮田村・箕輪町と、山梨県昭和町を11月15・16日に訪問し、「議員相互の話し合い」と「住民との対話、意見聴取」を課題に研修、意見交換を行ってきました。

宮田村

議会改革度調査2022

村議会部門全国第一位



【概要】

面積 54^{km}

人口 8837人

一般会計 54・9億円

高齢化率 29・7%

議員定数 12名

【議会特徴】

宮田村むらづくり基本条例（議員間討議条文あり）、住民参加に関する条例等議会発議条例多数あり。「議会むらびと会議」や「議会なんでも相談室」等あり。

議会の機能強化に力を入れる一方、議員活動量調査を行い議員・議会活動の見える化を推進。

【感想】 議員の立ち位置の確認と活動内容の自己管理、積極的な住民とのかかわりが参考となった。

箕輪町

【概要】

面積 169^{km}

人口 1万8124人

一般会計 129億円

高齢化率 30・7%

議員定数 15名

【議会特徴】

議会活動活性化委員会にて議会改革に取り組み

中学生模擬議会定着

タブレット使用による議会改革

【感想】 中学生が主体となった模擬議会の進め方が特に参考になった。



昭和町

【概要】

山梨県甲府盆地の中央に位置し、山がなく、面積 9・08^{km}

人口 2万1177人

一般会計 104・9億円

（普通地方交付税不交付団体）

高齢化率 18・6%

議員定数 14名



【議会特徴】

議会基本条例あり
議会改革推進会議 区長との意見交換会 井戸端会議やパブリックコメントにより住民の意見を聴取 議会モニター制度（議会広報を中心に）

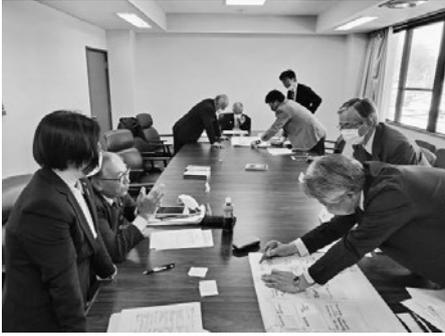
【感想】 大学と提携して議会改革を進め、幅広い年代層との対話に力を入れていることが参考になった。

全体として

いずれの議会も議会改革を進める一方、議会側から積極的に住民との対話に取り組み、議会の活動に生かしていることが分かった。

議員間討議

帰村後、今回の視察研修で参考になった点を、今後の議会活動に積極的に取り入れ活かすために、グループ討議、全体討議を実施しました。

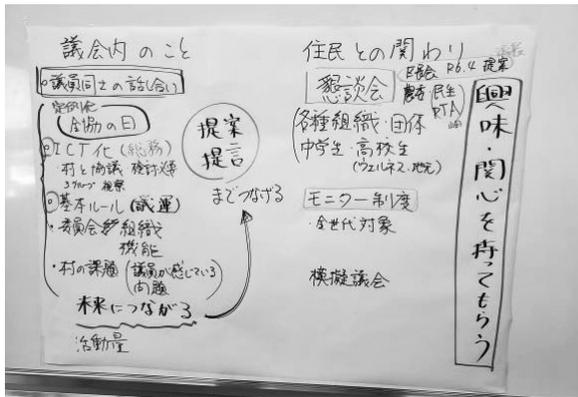


後日 視察のまとめを行うグループ討議を実施。活発な意見交換が行われた。



議員間討議の成果

- 議員討議の定例化
議会定例会の有無にかかわらず、毎月定期的に実施することとしました。
- 議員活動量調査
各議員が日々の活動の記録をとるようにします。
- 議会基本条例等議会の基本的なルールづくりの調査研究
- 議会のICT化の調査研究
- モニター制度の導入検討
- 懇談会の在り方検討



全体でのまとめ

議会構成変更

11月7日の第4回臨時会での選挙により、議長に鎌田欣子氏、副議長に勝田昇氏が当選し、同日付で就任しました。

また、常任委員会及び議会運営委員会も11月17日から次のとおり新体制となりました。

【総務常任委員会】

- ◎ 窪寺 務
- 吉池 昌昭
- 勝田 昇
- 鎌田 欣子

【社会文教常任委員会】

- ◎ 山田 直幸
- 櫻井 新一
- 一之瀬茂幸
- 待井 安登

【建設産業常任委員会】

- ◎ 宮下 敏彦
- 小山 正博
- 玉井 玲子
- 藤原 孝一

【議会運営委員会】

- ◎ 小山 正博
- 勝田 昇
- 窪寺 務
- 山田 直幸
- 宮下 敏彦

※◎は委員長、○は副委員長

子ども議会 事前学習支援

12月20日に子ども議会の事前学習のため、議会運営委員会のメンバーで6年生の教室を訪問しました。



グループごと村への質問を考える子どもたちの相談、アドバイスにあたりました。

子ども議会は、1月18日に行われますが、筑北専用チャンネルで再放送も行われますので、子どもたちの頑張っている姿をぜひご覧ください。

令和5年12月定例会審議結果

12月1日から12月8日の会期で行われた12月定例会の審議結果は、以下のとおりです。

1. 条例

件名	議決の結果
筑北村公営企業の設置等に関する条例について	可決(全員賛成)
筑北村いじめ等対策連絡協議会等条例について	可決(全員賛成)
筑北村議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可決(全員賛成)
筑北村特別職の職員で常勤のもの等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	可決(全員賛成)
筑北村一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決(全員賛成)
筑北村特別会計条例等の一部を改正する条例について	可決(全員賛成)
筑北村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決(全員賛成)
筑北村行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全員賛成)
筑北村空き家等適正管理条例の一部を改正する条例について	可決(全員賛成)

2. 予算

件名	議決の結果
令和5年度 筑北村一般会計補正予算(第5号) 歳入歳出 436,909 千円追加 総額 5,323,859 千円	可決(全員賛成)
令和5年度 筑北村国民健康保険特別会計補正予算(第2号) 歳入歳出 443 千円追加 総額 611,189 千円	可決(全員賛成)
令和5年度 筑北村介護保険特別会計補正予算(第2号) 歳入歳出 31,921 千円追加 総額 802,160 千円	可決(全員賛成)
令和5年度 筑北村とくら温泉施設特別会計補正予算(第2号) 歳入歳出 4,095 千円追加 総額 138,100 千円	可決(全員賛成)
令和5年度 筑北村差切峡温泉施設特別会計補正予算(第3号) 歳入歳出 754 千円追加 総額 34,389 千円	可決(全員賛成)
令和5年度 筑北村簡易水道事業特別会計補正予算(第2号) 歳入歳出 19,710 千円追加 総額 392,427 千円	可決(全員賛成)
令和5年度 筑北村集落排水事業特別会計補正予算(第2号) 歳入歳出 172 千円追加 総額 191,198 千円	可決(全員賛成)

3. その他の事項

件名	議決の結果
筑北村固定資産評価審査委員会委員の選任について(3名)	同意(全員)
筑北村教育委員会委員の任命について(1名)	//
松本広域連合の処理する事務の変更及び松本広域連合規約の変更について	可決(全員賛成)